夜

宮本百合子

青銅の扉に秘密を閉して
もだせる夜の厳さよ！
万物はかたずのみて
闇に立ち迷う奇蹟をながめ
故知らぬ暗示に胸をとどろかす
偉なるかな！
奇なるかな！
生あるものは総てかく低唱しつつ
厚き帳のかなた身じろぐ夜の精を見んと
行手すかしつつさぐり見るなり
無限の闇の広き宙には

乾坤の敗者の歎きと
勝者の鬨の声と
石棺の底より
過去を叫ぶ亡霊のうごめき
奇しき形に
其の音波を伝えつつ
闇に生れ闇に消え行く——
そが中を神秘は
ささやかなる各々の細胞となりて
うす青く輝きつつ飛び違う——

底本：「宮本百合子全集　第二十九巻」新日本出版社
　　１９８１（昭和56）年12月25日初版
　　１９８６（昭和61）年３月20日第５刷
初出：「宮本百合子全集　第二十九巻」新日本出版社
　　１９８１（昭和56）年12月25日初版
入力：柴田卓治
校正：土屋隆
２００９年１月29日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、

校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。